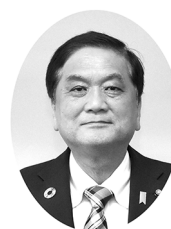


## 重点支援交付金・推奨事業 メニューについて

大森 貴之



〔質問〕水道料金の減免などが推奨事業メニューに盛り込まれた。今回の重点支援地方交付金を運用すれば財源の問題はクリアできると考えるが、水道料金の減免を行う考えはないのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕水道についてはすべての市民が使用しているものではなく、平等性、公平性の面での課題を踏まえ、今回水道料金の減免は考えていない。

〔質問〕重点支援地方交付金推奨事業メニューの内、どの事業に使われる計画があるのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕全市民を対象とした商品券配布事業、学校給食費補助事業、生活応援ポイント発行事業、事業者支援

として、医療機関、薬局、高齢者介護事業所、障害サービス事業所及び保育園等に対する物価高騰対策支援事業の実施を検討している。

〔質問〕どの事業を実施するにしても、交付後、遅滞なく実施し速やかに市民一人一人に支援が行き届くようするために、今からその体制を整えるべきと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕事業実施体制を整備し、庁内関係各課が連携を図り物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対して、速やかに支援を行えるよう取り組む。

二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

## ◎衛星写真による漏水調査について

〔質問〕衛星写真を活用した調査で得られた成果、発見箇所数、発見に要した時間および作業人数等において、従来の漏水関係の事業と比較してどのような成果があったのか伺う。

〔答弁〕〔上下水道事業所長〕半径100メートルの範囲で87エリアにおいて漏水の可能性があると示された。路面音聴調査や夜間作業などの作業時間が短縮され、作業に従事される方や本市職員の働き方改革につながったと認識している。

〔質問〕再度衛星写真による漏水調査の実施予定があるのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕現時点では交付金の確約がないこと、単独での調査は困難である。国の制度や財源が確保できる条件が整った段階で改めて実施に向け判断したい。

## クマの出没被害対策について

澁谷 政義



〔質問〕本市の鳥獣保護管理事業にて、冬眠明けの捕獲計画策定について伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕「クマ被害対策パッケージ」に「春期のクマ捕獲など、個体数管理に有効な捕獲事業の推進」が盛り込まれ、県の「特定鳥獣保護管理計画・評価委員会」において「宮城県ツキノワグマ管理計画」の見直しが行われるものと認識している。

〔質問〕クマが出没ににくい環境の整備について伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕環境の整備には「緩衝

地帯の整備、放任果樹等の誘引物の管理への支援を速やかに行う」

ことが盛り込まれることから今後の情報を注視し対策を講じる。なお緊急度・優先度を見定めた上で対応していきたい。

〔質問〕実施隊（ハンター）の研修および訓練の計画等について伺う。

〔答弁〕〔市民経済部長〕実施隊員を対象とした狩猟用スラッグ弾等の実技研修の必要性が高まっていることから、他の自治体の事例を参考に実施隊長などと現在検討している。

〔質問〕出動の要請があった場合の隊員の保障（身分）等について伺う。

〔答弁〕〔市長〕捕獲活動は危険性が非常に高く、活動中の不慮の事故に

備え傷害保険に加入している。身分は非常勤の特別職を準用している。

〔質問〕ガバメントハンターの確保と育成について伺う。

〔答弁〕〔市長〕常勤職員の確保、通常業務と兼務する場合の業務負担や人事異動、有害鳥獣を駆除する担い手には長期間の訓練と多くの課題を抱えており、これまで同様実施隊の皆さまの協力を得ながら対応を行なっていきたい。なお実施隊が対応できない場合は、県（ガバメントハンター）に協力を依頼していく。

〔質問〕本市に鳥獣被害対策専門チームの新設の必要性について伺う。

〔答弁〕〔市長〕有害鳥獣対策やクマ対策の体制強化を検討を行い、まずは農林課内の体制強化を今後検討していきたい。